

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 11/15 第22号 文責 林

学校教育目標 「自らの未来を切り拓く、心豊かな生徒を育成する」

2年生 チャレンジ体験

2年生のチャレンジ体験を11月7日（火）から10日（金）までの4日間で実施しました。61ヶ所の事業所の皆様にご協力いただきました。ありがとうございます。感謝申し上げます。2年生のみなさんは、教室を離れて実際に働くことを経験しました。どんな感想を持ちましたか。「働くことの意義」を考えた人もいたでしょうし、働くことの楽しさや一方では苦しさ、しんどさを感じた人もいるでしょう。私は、「好きこそものの上手なり」という言葉が頭に浮かびます。各事業所で働く方々を見ていると工夫して作業に励まれていることを感じませんでしたか。自分が好きなことは、工夫して作業しているとますます好きになり、さらに工夫するようになるものです。働くことの楽しさはそういったところにあるのでしょうか。2年生の皆さんも自分にあった職業を見つけて、自分自身を活かしてください。もう一つ思い浮かぶ言葉は「働くことへの誇り」です。働いておられる方々を見ていて、輝いて見えませんでしたか。誇りをもって働くことは、自分自身への厳しさにもつながります。

チャレンジ体験を終えて、月曜日に登校してきた2年生の表情は、体験前と比べて引き締まっているように感じました。チャレンジ体験での経験を今後の学校生活に活かしていきましょう。また、チャレンジ体験についてこれから探究活動を行い、ポスター発表につなげていきます。実りあるポスター発表になることを願っています。



1年生 ファイナンスパーク学習

1年生は、11月10日（金）に生き方探究館でのファイナンスパーク学習を行いました。ファイナンスパーク学習は、消費者の立場から消費生活をシミュレーションする学習です。例えば、年収が500万円で妻帯者、子ども2人という設定が与えられます。そして、年収500万円を支出にどのように振り分けるかを考えます。まず、500万円から税金などを差し引かなければなりません。このことに多くの生徒がまず驚きます。税金などを差し引いた後、支出をどのように振り分けるかは自由です。しかし、よく考えないと収入をオーバーしてしまいます。生徒は、ボランティアの皆さんのアドバイスを参考に真剣に取り組んでいました。「お父さんやお母さんに感謝しなくてはいけないなあ」とつぶやく生徒もいました。将来に向けて意識が高まったことでしょう。

